

<プログラム>



指揮 山田 靖 了
ピアノ 小笠原 史

I 懐かしい歌
大きな古時計 保富康午 訳詞
ワーク 作曲/増田順平 編曲
ロンドンデリーの歌 アイルランド民謡
津川主一 訳詞/猪間道明 編曲
クラリネットをこわしちゃった フランス民謡
石井好子 作詞/福井利雄 編曲
遠くへ行きたい 永六輔 作詞
中村八大 作曲/青島広志 編曲
贈る言葉 武田鉄矢 作詞
千葉和臣 作曲/太田哲 編曲

II ねが
希いを込めて
おわりのない海 工藤直子 作詩/松下耕 作曲
生きる 谷川俊太郎 作詩/なかにしあかね 作曲
聞こえる 岩間芳樹 作詩/新実徳英 作曲

III REQUIEM Op.48 GABRIEL FAURÉ 作曲
ソプラノ 高野 こずえ
バリトン 小原 一穂
オルガン 田村 久美子

I INTROÏT et KYRIE<入祭唱とキリエ>
II OFFERTOIRE <奉献唱>
III SANCTUS <聖なるかな>
IV PIE JESU <慈悲深きイエス>
V AGNUS DEI <神の子羊>
VI LIBERA ME <われを救いたまえ>
VII IN PARADISUM <天国にて>

<団員名簿・出演者名簿>

浦小駒田	田島木中	美ア美育	江和子	子ツ子	太兼佐中	田木村	和紀裕静	美子子	子子子	小菅佐藤	川野藤井	クフ清明	子子子
尾北外吉	形田館原	和治光典	恵子代子	鎌寒松	澤江尾	光怜洋	子子子	子子子	川佐吉	村木田	富喜子	子子子	子子子
尾中千	形野葉	利昌	夫攻男	門熊藤	脇谷村	次郎雄	郎晃治	鈴園	木田	伸照	一英		
大藤工照	道原藤井	和智喜隆	夫徳弥一	清宮佐日	見田野	尚輝夫	男昭史夫	佐稲千米	藤垣葉内	貞誠	洸男司滋		
赤梅菊澤田藤	沼内地田中澤	利直まゆぐ	加子みみ子	伊浦小高照三	東部坂橋井浦	菜寛直こはる裕洋	穂子美はる子	内遠斉竹徳	澤藤藤田永	祥昌純恭和	子子子	子子子	子子子
岩小高乳	間濱橋井	順和孝明	子子子	太佐干	田藤泥	史ふみ公	恵子子	菊獅子深	池内瀧	敏廣衣	子子津		
小西兼	川野平	三孝	雄敏稔	近太澤	藤田村	大貴憲	介之照	藤小宮	澤沢野	信哲	夫実美		
大渋稲	橋田邊	弘	治護督	尾村野池	形井池	英時征	夫男毅	佐伊	藤東	孝雅	悦美		

<指揮者・ピアニスト・役員>

常任指揮者	山田 靖 了
ピアニスト	小笠原 史
会長	佐藤 洸
委員長	中野 次郎
副委員長	門松 光
会計	外野 美和子
パートリーダー	川村 富喜子
Sop.	高野 こずえ
Alt.	小原 一穂
Ten.	藤村 治夫
Bas.	日野 輝利
実行委員長	尾形 夫
ステージマネージャー	黒田 農

<主な活動> 2006年 平成18年

- 2/12(日) 第4回尾形ファミリーコンサート後援
- 5/21(日) 第35回盛岡芸術祭(市民文化ホール)
- 7/22(土) 第40回定期演奏会(岩手県民会館)
- 8/5(土) 米沢混声合唱団第8回定期演奏会
- 8/10(木) 総会
- 10/21(土) ライオット風第18回定期演奏会(普代村)賛助出演
- 10/23(月) 第3回EEC国際親善展賛助出演
- 10/24(火) 盛岡老人大学30周年記念式典出演
- 11/1(水) 「佐藤洸 晩秋に歌う会」後援
- 12/10(日) 岩手芸術祭合唱祭(岩手県民会館)
- 12/24(日) 第九演奏会
- 12/26(火) 忘年会(プラザおでって)



混声合唱団 北声会 第39回定期演奏会 2005年9月3日 盛岡市民文化ホール大ホール

混声合唱団北声会 略歴

戦後もまもなく結成された「杜陵合唱研究会」を母体として、昭和26年NHK盛岡放送局の付属団体として「QGボーカルフォア」が誕生。28年に「NHK盛岡放送合唱団」と改称、NHKの放送や県内各地の演奏旅行を通して合唱音楽の普及に貢献してきたが、昭和41年放送合唱団としての活動を閉じる。翌42年にそれまで指導して頂いた千葉了道先生の命名で「北声会合唱団」を結成（62年混声合唱団北声会に改称）し、初代常任指揮者千葉了道先生の指導のもとに、詩人草野心平氏や当時の全日本合唱連盟理事長石井欽氏を招くなど引き続き県内の合唱音楽の興隆に尽くした。千葉了道先生亡き後、第2代常任指揮者に牛越尚先生を、平成8年の第30回記念定期演奏会後からは第3代常任指揮者として山田靖了先生を迎える。盛岡芸術祭や岩手芸術祭参加はもとより、「ライオット風」（野田村、普代村、田野畑村）など県内を初め、近年は上山混声合唱団フロイデ、米沢混声合唱団との交流、2000年と2002年の2度にわたって北欧（ノルウェー、スウェーデン）の合唱団との交流、2004年には「Tokyo Cantat 2004」に出演、来年の第41回定期演奏会では、ミュンヘンの合唱団「リンデンバウム」とのジョイントコンサートを予定するなど、幅広い活動をしている。現在団員数42名。

ご挨拶

委員長 中野 攻

今宵はようこそ我が混声合唱団北声会の演奏会において下さいました。有り難うございます。

今年は40回という節目を迎えました。「北声会」としては40年になりますが、左記の履歴にあるように、もとを辿れば、戦後もまもなく誕生した「杜陵合唱研究会」に行きつき、岩手の合唱の源と言っても過言ではありません。勿論、歴史が長いと現在の技量とは何の関係もありませんし、事実、北声会に私が入団してからも、合唱団生みの親で、常任指揮者の千葉了道先生のご逝去、二代目常任指揮者牛越尚先生のご退任など決して平坦な道ではなく、解団の危機に直面するようなこともありました。

それが今、フォーレのレクイエムを全曲演奏できるまでになったことは、常任指揮者として迎えた山田先生を初め、多くの方々のご指導、ご支援の賜であります。しかも、今回「歌う会」を募集したところ、予定の人数を遙かに超える44人の方の応募を頂きました。第1回の特別練習の時に、「これは絶対素晴らしい演奏になる。」と確信したものでした。多くの人たちがフォーレのレクイエムを愛していることの証だと思いました。

今夜のこの「レクイエム」が皆さんに至福の一時をお届けできるよう、団員一同心を込めて歌いたいと思いますので、最後までごゆっくりお聴き下さい。そして、今後の北声会のために、皆さんのご忌憚のないご批評とご指導を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。今夜は本当に有り難うございました。

40にして惑わず …第40回定期演奏会に想う

常任指揮者 山田 靖了

追い越そうとしても追い越せないもの、この年輪と経験ではないでしょうか。40年間にわたり研鑽を積み、年に一度の演奏会を続けてきた証、偉大な数、艱辛苦をも乗り越えてまさに「不惑」と心から敬意を表します。

あらためてこの脈々と続く歴史の中に身を置く重さを痛感しております。第31回の定演から今回まで勤めることが出来たのは、役員の方々をはじめ団員の皆さんに温かく支えていただいたおかげと衷心より厚くお礼申し上げます。

この間二度にわたる北欧親善演奏旅行、TOKYO CANTAT出演、ライオット風をはじめ宮古木曜会合唱団、山形の上山混声合唱団、米沢混声合唱団などとの交流、著名な合唱指導者の招聘など多くの体験をすることも出来ました。

今回の演奏会では、40回を記念し静謐な新り溢れた名曲、フォーレの「レクイエム」全曲の取り組み、「レクイエムを歌う会」の方々と総勢80余名の大合唱となり、それぞれに万感の思いを託して歌います。冥府に旅立たれたお身内、親友、合唱団員への鎮魂、殺役とした世の中への平安の祈り、平和への希求、敬虔な音楽との対峙……。

また、日本を代表する作曲家松下耕、新実徳英、新進気鋭の作曲家なかにしあかねの作品（未出版）に取り組み、現代作曲ならではの複雑なハーモニーとリズム、今風の感性に挑戦することとしました。

いま私たちは、家族や周りの方々のご理解とご支援のお陰で、「健康」で「大好きな合唱」に打ち込める幸せを感じています。それぞれに感謝の気持ちで一杯です。

ご来場下さいました皆様方、「レクイエムを歌う会」の皆様方、多くの方々のご支援に厚くお礼申し上げます。今後ともよろしくお導き下さいますようお願いいたします。

《お祝いメッセージ》

まあ！何とりっぱなお声たち☆☆

合唱指揮者・ヴォイストレーナー・全日本合唱センター調師
坂本 かおる



これが三年前初めてレッスンに何ってお歌を聞かせていただいた時の印象でした。そして、歌い手さんお一人お一人に目を移して行ったら……そこには、私の年齢（勿論秘密ですけど）分の合唱歴をお持ちであろう人生の大・大・大先輩方が艶潤と歌われるお姿が。それと同時に、10年前のイギリスでの記憶が蘇りました。

その時、私は合唱指揮を学びに、乳飲み子を主人に任せ、発祥の地とも言えるイギリスに行き、レッスンの合間にはたくさんプロの演奏を聴いて回っては感心していました。でも、ある郊外での休日、アマチュアコーラスが野外ステージで歌っているところに出くわしました。曲は、親しみのある何の変哲も無い(?)イギリス民謡で、歌い手さんはというと、K・フライドチキン形よろしく、安定感のある立ち姿の中老年の方々……。けれど、けれど、何としたことでしょう！決して良質とは言えないharmonyなのに、連日のプロの演奏ではあり得なかった事、そう、鼻の奥がツンとして、後から後から溢れる涙に、私の頬はしばらく乾きませんでした。

恐らく皆さんもこんな経験がお有りでしょうか？ そうですね。美術や音楽は「技術が全て」ではないが故に、アマチュアが人の心を揺り動かすこともしばしば起きます。それは「テクニク」より「歌う人の心」の方が聞き手の魂に直接語りかけて来るものだからなんです。

今日の北声会さんの演奏は、その<心>に染みる>歌声であることを保証します。自負することをお許し願えるなら、私のレッスンで熱心にリトミックやharmony trainingに励んで下さった成果である、技術の向上に力強く裏付けされているからこそその歌声 ですよ……

東京から、切にご成功をお祈りしています♪



ソプラノ
高野 こそえ

盛岡二高卒。宮城学院女子大学文学部音楽科声楽卒業。武田敏子、故宮野和子、丸岡千奈美の各氏に師事。ピブラートをおきえたストレートな歌唱を得意とし、様々な合唱団でソリストとして出演。いずれも好評を得ている。盛岡市芸術祭、岩手県芸術祭に出演。北七声楽研究会、メソリアを歌う会、ラ・ムシカ会員。音楽教室主宰。



バリトン
小原 一穂

盛岡一高、岩手大学教育学部音楽科卒業。東京学芸大学大学院修士課程修了。森重子、今間山紀子、中村義春、杉山道彦、佐々木正利、P. フランソワの各氏に師事。ミサ、カンタータ、レクイエム、オラトリオ、受難曲等の宗教曲をはじめ「第九」、「春の歌」等の演奏会にソリストとして多数出演する一方、創作オペラ、音楽劇の主要キャストを務め好評を得ている。盛岡市等でリサイタル開催。グループ・ベッヒライン会長。盛岡パヴァー・カンタータ・フェスティバルコンサートマスター。盛岡市立城西中学校勤務。



オルガン
田村 久美子

岩手大学教育学部音楽科、慶應義塾大学文学部哲学科卒業。ピアノを佐藤靖子、小林出、川越幸子の各氏に師事。82年ザルハルト・オゼッツ、83年ヘルムート・クレッチマール（伴奏法）のレッスンを受講。83年県民会館中ホールにてジョイントリサイタル開催。90年ザルツブルク、97年ハイデルベルクの夏期講習を受講。盛岡芸術祭・岩手芸術祭ピアノ部門等に出演。9年前よりパイプオルガンの勉強を始め、小林英之、水野均、吉田愛、津部久美の各氏に師事。平成11年盛岡市文化振興事業団主催のパイプオルガン演奏講座を修了。盛岡芸術祭開幕式などで演奏。現在は Amici dell'organo 会員、岩手女子高等学校音楽部を指揮し、97年在日ハンガリー大使館の推薦により「ハンガリー春の音楽祭、歌う若者の集い」に参加。現在、岩手女子高等学校教諭。



指揮
山田 靖了

盛岡市出身。山形大学特設音楽科卒。盛岡一高、盛岡二高、一関一高等に勤務し、全日本合唱コンクール全国大会において、一関一高を金賞、盛岡一高を銀賞に導く。退職後は、中・高生の指導にもあたり、去る6月に開催されたわかあざんコーラス東北支部大会においては、コールTONANを全国大会出場に導くなど幅広い活動をおこなっている。

現在、岩手県合唱連盟副理事長、混声合唱団「北声会」常任指揮者、一関女声合唱団、コールTONAN 指揮者。若い世代の合唱団「匠」（仮称、5月発足）音楽監督、岩手附属中学校非常勤講師、21世紀の合唱を考える会・合唱集団「音楽樹」会員。



ピアノ
小笠原 史

盛岡白百合学園高等学校、玉川大学芸術学科ピアノ専攻卒業。瀬川慶子、新沼康博の各氏に師事。混声合唱団北声会、コーラス四季ピアニスト



司会者
佐々木 聡子

盛岡二高、東北学院大学文学部卒業。岩手放送入社。秘書部、人事部、総務部等約10年間勤務の後、退社。現在、平米方エコー所属。

ライブスナック



楽器を
用意してます

ポツカ

盛岡市大通1丁目10-21 TEL:624-1090

ピアノ
ベース
エレクトーン
ワックス
ペット
トロンボーン
ギター
ドラムセット
他多数



La Ciel

大通CT33ビル TEL:654-2620

下長根生花店 八幡町5-9 TEL:622-5564・FAX:652-3242



第35回 盛岡芸術祭 合唱部門公演

2006年5月21日 盛岡市民文化ホール 大ホール



混声合唱団 北声会 第40回定期演奏会

2006年7月22日 岩手県民会館 大ホール



混声合唱団 北声会 第40回定期演奏会

2006年7月22日 岩手県民会館 大ホール





001-010

第59回 岩手芸術祭 合唱祭 2006年12月10日 岩手県民会館